

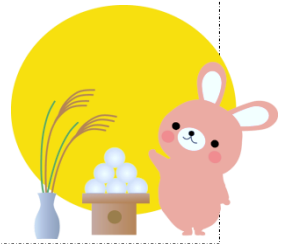
かもう公民館 図書室だより

平成26年度 9月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

9月 (長月 ながつき)

今年の十五夜は9月8日(月)。夜の空気が澄み、一年の内で月が最もキレイに見える時です。色づきはじめてすすきと季節の初ものをお月様にお供えて、今夜はぜひお月見を。

(参考資料:「なごみ歳時記」)



第151回 芥川賞・直木賞が決定!

「記憶」を描いた物語。とある男女の交流を中心に、出会いと別れ、土地の



柴崎友香『春の庭』
(文藝春秋)

芥川賞



黒川博行『破門』
(KADOKAWA)

直木賞

ヤクザと建設コンサルタントの「迷コンビ」によるハードボイルド小説。

※貸出中の際はご予約をどうぞ。お気軽におたずねください。



●9月カレンダー

休室日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開室日 : 火~日曜日

(月曜・祝日は休室)

開室時間 : 9:00~17:00

(12:00~13:00は休室)

貸出冊数 : 図書5冊・雑誌2冊

貸出期間 : 15日間

始良市立図書館ホームページ

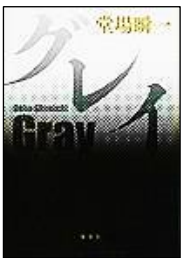
<http://lib-airajp/>



新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

「グレイ」 堂場瞬一 著



1983年、バブル前夜の東京。貧乏学生の波田は、経済評論家の北川が率いる研究所で働き始めるが…。警察小説の旗手が挑む、ピカレスク・ロマン。

家人間関係も風通しが大事。世間の風が無責任に吹き抜け、お互いの存在悪を薄めるくらいがちょうどいい…。曾野綾子が贈る、人生の指針となる16話。



「風通しのいい生き方」
曾野綾子 著

「世界の美しい書店」 今井栄一 著



そこには数多の本があり、その中の「ただ1冊」が、僕を、私を、待っている。目で見て楽しい建築や個性的な書棚が広がる、世界の美しい書店を写真で紹介。

一般書

- 「古墳の歩き方」 まりこふん
- 「実家のたたみ方」 千葉利宏
- 「ぼくのおやつ」 ぼく
- 「富岡製糸場と絹産業遺産群」 今井幹夫
- 「日本一の女」 斉木香津
- 「小さな城下町」 安西水丸

児童書

- 「かいけつゾロリの大まじんをさがせ!!」 原ゆたか
- 「ながいでしよりっぱでしよ」 サトシン
- 「ポプラディアWONDA 自動車・船・飛行機」

今月の特設展示コーナー



【特集「敬老の日」おすすめの本】



今回は、9月15日の「敬老の日」にちなんだ本を特集します。敬老の日は長年に渡り社会に尽くしてきた方々を敬愛し、長寿を祝う日。ぜひこの機会に、人生の大先輩の言葉に触れてみてください。

一部ご紹介

大・大往生



「大・大往生」 鎌田實

老いと死にどう向き合って生きていくか、シリアスかつユーモラスに提言する。

「恋歌」 朝井まかて

歌人・中島歌子の秘めたる想い。幕末に生きた女の過酷な一生を描く感動作。



※読書推進運動協議会選定図書その他、関連本を展示しています。

ぐるぐる蒲生めぐり

メアサ杉 (めあさすぎ)

日本一の大楠で知られる蒲生ですが、実はメアサ杉の産地としても有名です。1647年(正保2年)、蒲生の地勢と土質に着目した島津藩の国家老・島津通久が造林事業に力を入れ始めると、サーモンピンクで光沢のある、美しいメアサ杉が生まれるようになりました。八幡神社、楠田神社には、樹齢150~600年の老木もあるそうです。自然豊かな蒲生を、これからも大切にしていきたいですね。



参考資料

「蒲生郷土史」
「蒲生の歴史と産業」